

塩尻東地区タウンミーティング議事録(要旨)

○日時 2025/10/20 19:00～20:20頃

○場所 塩尻東地区センター

○参加者 35人

○説明者 市長、企画政策部長、総務部長

○議事録(要旨)

※個人情報や個人が特定される内容などは省略しています。

市長

皆様こんばんは。塩尻市長の百瀬敬でございます。今日はこれからの塩尻市について市長と語ろうということで、タウンミーティングを開催しました。1日お疲れのところ、多くの皆様ご参加をいただきまして誠にありがとうございます。このタウンミーティングであります、本日10月20日塩尻市東地区をスタートし、市内10地区を11月17日まで約1か月かけて回つてまいります。このタウンミーティングを通じまして、この後、話もいたしますけれども、来年度予算の編成が始まってきておりますので、皆さんのお声を直接伺って市の予算に反映していく、そういう機会になればと思っております。

全ての声を反映するということは、正直申し上げて難しいところはありますけれども、できる限り反映していく。そして、やはり直接意見を聞く場ですので、もう遠慮しないで、率直な気持ちを直接ぶつけていただければ非常にありがたいと思っております。時間も限られておりますので、塩尻東地区の特徴的なお話を申し上げます。

※(省略)塩尻東地区の説明(別添資料)

※(省略)令和8年度予算編成方針について説明(別添資料)

市民

本当に人命とか、それから国としても課題がある防災という部分でちょっと質問を絞らせていただきました。最近テレビやなんかを見ますと、災害にあわれた方がまさか自分がここに何十年も住んでいるけどこんなことは初めてだと、そんな部分をテレビで見ます。まず塩尻市として、今現在どの程度の災害規模を想定しつつ、それにより何人くらいの避難者がいるの

か、それに対してどのくらいの災害備蓄品の蓄え等々がされていると思いますが、その内容や準備状況、災害に対する準備状況などがあれば聞かせていただきたいと、こんなことは知つていて当然のことでも、私はほとんど分かっていないので教えてください。

それからまあ、ちょうどこの間ここで8月31日に防災訓練を行い、その時に中学校の防災備品倉庫見ましたけど、その時の感覚でいうとちょっと少ないんじゃないかなと感じていて、あの辺は何か基準等があって、塩尻中学校と小坂田公園の備蓄倉庫の中身は何か根拠があるのかということ、それから小坂田公園って防災道の駅と知っていました？ 長野県で2つありますから、そういう観点で防災につなげ、もし東地区が実際に災害に遭ったときに、各地区との連携とか、し、せっかくある備蓄品をいかに有効に使うかとか、そういう体制づくりについて聞かせていただきたい。体制づくりがなければ、強化し、市民は自分自身のこととして考えていくことを提案します。

それとあと、家庭における防災意識が課題となっています。自分は正直言って、ほとんど気にしたことではない。今日のたまたまこの質問を考えて、区長会でもハザードマップのことがでてきたので見ましたけど、どれくらいの方が関心を持って見ているのかなという感想だったです。市でいくら情報を出してくれても、最終的には自分で情報をとりにいかないといけない。少なくとも私はあまり見てなかったので、市民の皆さんも防災意識を持って、最終的には個人として各家庭として意識を持ってやるといざというときに活かせるのかなと。

端的に要約すると、防災備品の備えは十分か、塩尻市防災の機能、地域への携わり方、取り組み、各家庭へのハザードマップなどの配布を通した市民への周知について伺いたいです。

市長

ありがとうございました。まず初めに今年の市民防災訓練は塩尻東地区で行いました。8月31日で区民の皆様の多くの協力をいただきましたことに、大変感謝を申し上げます。ありがとうございます。今、質問をいただきました方もおっしゃっていましたけれども、一番大事なのは、まず自身である程度の備蓄品をストックしていくこと、それが肝要でございます。どれぐらいの備蓄をしているのかという話ですけれども、何時ぐらいに発生するのかとか、どういう時期に発生するのかという想定をしておりまして、細かい話は後ほど部長からお話し差し上げますけれども、塩尻市の災害リスク、やはり一番高いのは地震であります。

糸魚川静岡構造線、日本海から太平洋に大きな断層があります。その一角をなす牛伏寺断

層が地震を起こすとマグニチュード 7.6 という想定がありまして、このマグニチュード 7.6 は能登半島地震と全く同じ数字でありますし、今年の 7 月には南海トラフ地震の防災対策推進地域に新たに塩尻市、もう 1 箇所が王滝村でございますけれども、県内に関して 2 力所追加の指定を受けております。そういう状況でございますので、災害はいつ起こるかわからないというお話でありましたけれども、常に備えをしておかなければならぬ、そういう状況でございます。また、道の駅小坂田公園でありますけれども、長野県の防災の道の駅として認定されていますし、国土交通省の広域的な防災拠点になり得る道の駅ということで選定される可能性があります。

道の駅ですけれども、防災機能強化事業の一環として、災害時に地域住民の避難や物資の備蓄、救援活動の拠点などになることを想定しておりますが、小坂田公園にもありますし、各地区にも備蓄庫があると思いますが、おそらく皆さん拝見すると、こんな数でいいのかというような数しか入っていません。

実は、先ほどの塩尻東地区の災害想定でありますけれども、もし糸魚川静岡構造線の地震が起こると、避難者数が発災当日は 81 人、次の日は 475 人になるという想定でありますので、やはり想定数が一応防災計画に定められた方法で作っておりますけれども、少ないという状況になっているものと思っております。

また、ハザードマップに関しましては、今、ハザードマップの提供をしておりますけれども、見方、使い方、そういったものは各地区に出向いて説明会もしておりますので、ぜひともまた区民の皆さんにお集まりになる機会に、私どもの職員が出向いてハザードマップのお話をしますので、どこの川が氾濫する危険性があるかとか、雨が降れば土砂が崩落する危険性があるのか、そういうところを見ておくのも大事だと思います。

記憶に新しいところでは高ボッチ東山から抜けるところ、一時大雨で長年にわたり不通になっておりました。そういう面で災害に弱い、そういうところも見えてきております。ただ、話が前後してすみませんけれども、備蓄に関しましては、昨年の区長さんとの懇談会の中で、区長さんのヘルメットが何 10 年も前の非常に古いものだというお話をいただきまして、そのヘルメットの更新は対応をさせていただいております。

ちょっと足りないところは部長から話をします。

総務部長

市内の備蓄倉庫ですけれども、これは市内の中学校の敷地内に主に設置しています。そのほか、昨年、旧檜川支所に新たに防災倉庫を設置したほか、ユメックスアリーナ、その施設内にも備蓄しているということで、20カ所以上の備蓄倉庫が市内にはございます。倉庫の中には水や食料品のほか、ワンタッチトイレやトイレットペーパー、あるいはサニタリー用品、そういう日用品、発電機等レスキューKITなどの資機材を備蓄しているという状況でございます。市長から説明がございましたが、塩尻市は牛伏寺断層を含んだ糸魚川静岡構造線断層帯がございます。先般7月に南海トラフ地震防災対策推進地域の指定で塩尻市と王滝村がありますが、想定最大震度、市内で震度6弱であります。

ところがその、糸魚川静岡構造線の断層全体が動きますと震度6強になるという予想になります。市内で予想される一番大きな地震が、この糸魚川静岡構造線断層帯の全体が動くというものであります。このことはですね塩尻市防災アセスメント調査というものを実施いたしました、被害想定を算出いたしました。

一番被害が大きくなるのが冬の夜18時で、この時間に発生したという想定で備蓄品を算定しております。発生3日後から国や県から物資などの支援が行われることを想定して、3日間を維持するということで備蓄品の想定をしておりますが、塩尻東地区の避難者数は、発災日当日が81人、翌日となると475人で、先ほど市長が御説明いたしましたが、このように想定しております。この2日目までに必要となる食料が1112食になります。塩尻中学校と小坂田公園の防災備蓄倉庫を合わせて1300食配備してございますので、あくまで計算上ですが、物資は今のところは持つという計算で備蓄をしているということでございます。ただ、もちろんあくまで計算上でございます。実際の被災状況によって全く変わってくる可能性もございますし、東地区のいわゆるリスクという部分では物資が不足するという場合も考えられますので、そういったときは国や県からの支援、あるいは災害時応援協定を結んでいる団体や企業、そういったところからの協力による対応をしていくということを想定しております。先ほど区長さんからもありましたように、備蓄は市や区のみでは非常に厳しいものがありますので、市民の皆さんも最低でも3日、できれば1週間分の食料を備蓄していただけるように御協力をお願いしたいと考えております。

また、防災道の駅である小坂田公園ですが、県内2カ所で先日上田市が認定されまして、塩尻市は最初に認定されておりました。小坂田公園のサッカー場の一角に防災倉庫があります。これは市が設置したものでありますて、そこには普通のアルファ米ですか、おかゆとかその他

日常製品等があります。国道20号線の西側には国土交通省が設置した備蓄倉庫があります。

こちらには、主に防災道の駅を維持するための備品があります。例えば、トイレが停電で使えなくなつたというときに使えるような発電機、あるいは段ボールベッド、そういうものを収納しております。そういうすみ分けをしてございます。防災道の駅になりますと、自衛隊とかの緊急車両、そういうものが現場へ向かうときの集積拠点として活用されるというふうに考えております。

市民

分かりました。またまた皆さんから意見を聞く機会がありますので。ありがとうございます。

市長

防災訓練でも気づきでありますけれども、体育館が非常に暑くてですね、本当にあの時災害が起きたら本当に避難所になり得るのか、という課題も非常に感じておりますので、そういうところの対策も必要かなと考えております。

市民

ありがとうございました。今も本当にそう、体育館に行った方がいいとは思えないですね。

市長

そこは大きな課題として認識をしております。ありがとうございます。

市民

今の防災訓練なんですけれども、私も参加させていただきました。私は違和感を持ったのは、さっきの話で区長さんはヘルメットかぶっているんですけども、ここの人たちはまあ来賓の方々もヘルメットかぶっていますよね。ですが我々はヘルメットをかぶらず、他の方々はヘルメットをかぶっているんですよね。

だから、別にヘルメットをかぶっていただきたいんですね、その皆さんに。ただ、さっき防災倉庫には区長さんがヘルメットありましたというんですけども、その他の人の分はないんでしょうか。そろえてはいないということですね。今の話だと。どうもそういうことを考える

と、区長さんだけが安全にヘルメットをかぶって、他の人も用意されていないということは、そこら辺をまた考えた方がいいのかなと、今のお話を聞いて考えたし、防災訓練のときもそこでヘルメットかぶることも必要なんだと言ったら、そこでヘルメットをかぶるようにとか、推進することも薦めた方がよかったんじゃないかなと思いました。

市長

貴重な御意見ありがとうございます。今、塩尻中学校の防災倉庫の台帳をみているんですけども、やはりヘルメットはない。ですので、やっぱりヘルメットは頭を守るのに非常に大事ですし、避難するときも座布団だけも、まくだけでも全然違うと思います。自分の身の守り方をしっかりと周知するようにしていきたいと思います。

まずは自助。自分自身が助かるのをしないと、その後の共助、ともに助け合うことにつながりませんので、ご指摘のとおり、そういった安全面の避難の仕方とか体の守り方をしっかりと周知していきたいと思います。貴重な御意見ありがとうございます。

市民

防災訓練でさっきおっしゃった糸静線の地震が起きた。能登でも地震がありました。もう1年半以上たっています。能登の方たちはいまだに仮住まい。果たして我々も被害に遭った後どうなるんだろうかと。能登を見ていると、被害があつてもなかなか元に戻らない、そういう心配が、国とか県は本当になかなか何もしてくれないっていうけれども、そこは市が率先して元の姿に戻そうとする。その復興についてはどのように考えているのか。被害、防災だけで終わるのではなくて、その次のことも、もし考えていることがあつたら教えていただきたいと思います。

市長

はい。ありがとうございます。あの能登の地震でありますけれども、私ども塩尻市では能登市役所に1人職員を派遣しております、私も9月30日から能登の現状を見てきましたけれども、正直申し上げると驚くほど復興が進んでいない、そういうところは見てきております。

今申し上げましたとおり、その災害が起きた後の再建に向けても、一応計画は持っていますけれども、適時適切な判断で1日も早く元の生活に戻ることは非常に大事だと思っておりま

す。何が大事かといいますと、私自身にとっては、私は防災関係の長になりますので、責任を持って進めるしかないのかなと、そのように感じております。

ちょっと抽象的なお話ですみませんけれども、そういう心意気持っていますので、理解をいただければと思います。

市民

人口増減率のところで、塩尻市が 97.6%ということで、少子化で、これは正直言って国がやるべきことで、まあハンガリーなんかは、オルバーン首相になってから出生率が 1.5%まで上がったと。実績がある中で、市でも何かできることは非常に少ないとは思うんですけども、市としては、収入をやっぱり確保する上で市外からの人口流入を考えるのか、それとも市としても出生率を上げる対策を考えるのか、それともここは仕方のことなのか、というところが一つと。もう一つは、全然関係ないんですけども、熊。出てますね。善光寺で出たって話もありますし。塩尻市でも見たって話を聞くんですけど。森林業やってる仲間から話を聞くと、やっぱり広葉樹林を伐採したことが一番いけないということや、あとソーラーパネルの問題も含めてありますけれども、動物との共生を市として考えているのかいないのかっていうことをお聞かせいただければと思います。

市長

はい。分かりました。貴重なお話をありがとうございます。まず、人口の話ですけれども、市としましては、やはり子供の数は増やしたいと思っておりまして、やはり子育て。やはり出産、妊娠からですね、こう出産、そして育児につながるところを切れ目なく支援をしております。ただ、今現状を申し上げると、分娩施設がない、そういう大きな課題もありまして、近頃は松本市の病院の分娩も休止となっておりますので、果たしてそれで市民の皆様が安心できるかという課題は感じていますので、広域的なネットワークで乗り切っておりますが、そこがきちんとできるようにしていきたいと思っております。人口はですね、これは言い方を変えると日本の国内で、自治体同士で人口を取り合っているのではないかという、そういう議論もあることは事実ですので、定住人口はしっかり確保していきたいと思っています。もう一つの交流人口、この市にかかる皆さんを増やしていきたいのかなと、そのように思っております。

塩尻東地区でありますけれども、社会増減は、あの転入転出はもう減っているんですけど、

そんなに大きな数ではないので、自然増減生まれる、亡くなる方が多いのはどうしても仕方ないですけれども、社会増は前提にしていきたいと思います。昨年と今年の4月時点を比べますと、市全体では社会増ではあります。

そういうふうに自治体の人口政策を進めていきたいと思っております。そしてまた、熊の問題がありますけれども、熊はどこでも非常に大きな問題になっております。一つ、今県で「けものおと」というアプリがありまして、熊が出たところをポイントで示す、そういうこうアプリがありますので、そういうところでは熊の生態をきちんと、動向だとかを一人一人確認していただきたいのが一つと、やはり山の保全ができていません。

昔は山と外の区別がちゃんと緩衝帯みたいについていたんですけども、今はおそらく熊が山と里の間が荒れてしまって山と里山の区別がつかずに入ってしまうというところがありますので、そういうところはしっかりやっていきたいと思っております。山に関していいますと、山っていうのは40年くらいで木を切ってまた植えていかないと山というものが保持できないんですが、今塩尻の山の樹齢的に70年ぐらいになっています。

人間の社会も高齢化していますけれども、今後も山を守っていってほしいなと思っています。東地区ですけれども、それぞれのボランティアの皆さんのが里山保全の活動をしていただいている。そういうことに対して、非常にありがたい気持ちを持っていますし、そういう活動をすることが熊の出没を抑える、そういう効果もあるものと思っています。そこは市も連携をしまして進めたいと思います。貴重なお話をありがとうございました。

市民

ありがとうございます。

実にいびつな会議だと思っていまして、いつ来てもそうなんですけれども、女性の方がいないんですよね。どうしてかなと思うんですね。男性の方はたまには市長さんのいい話でも聞いてこいよと言って、今日はカレーでいいからなんて言って送りだしてもらえると、女性も出やすいのではないかと思うんですけども、手話通訳者さんと市役所の方々だけでしょう。女性って。あと私ですね。ですから、地域の話をするのに、どうして女性の男女平等参画と言っても、絵に描いた餅のようで、全然根付いてないんですね。ですから、一人でも多くの女性の方、出席していただけるようなこうお考えにしていただきたいと思っています。

それから、ちょっと人口のいろいろにつながるかもしれませんけれども、私、ちょっと記事を

一つ見つけまして信濃毎日新聞さん。1分だけ時間をください。コロナ禍で中止となった地域の事業が再開し始めたが、中止されても区民の生活に影響はない。地域との適度な距離感を心地よく感じている。役員経験者の立場から、次の5点の改革を提案する。役員が集めた浄財が飲食に使われている。運動会の選手選考の負担が大きい。祭り関係の宮総代3役は神道の役員のみとし、仏教徒らの役員は応援の形にするべきである。しめ縄飾りは風雨で紙が飛散して見苦しい。役員の定例会は日曜日の夜だが、土曜日などの安全な昼間にすべきである。改めてこれらの課題を解決し、区民の負担を少なくて地域活動に参加できる環境を整えるべきである。地区の役員改選の時期に一考を促したい。塩尻市、男性74歳。これは東地区のどなたかが書いて信濃毎日新聞に投稿されたものと私は推測します。個人的には大体この方の気持ちはよくわかるんですよね。

それから、さっきのヘルメットの件ですけれども、1軒に1個支給していただくような形になりましたかね。そうすれば市の本気度がわかる。それから話変わりますけれども、私の住んでいるところは田川が氾濫すると、万が一のとき3~5メートル浸水すると、ハザードマップを見るとなっているんですよね。これもどこに行って聞いたらいいのか、あるいは対処してもらえるのか。

それから、桟敷地区は地区計画というのが進行しているようですけれども、事業計画を。非常に冷たいわけです。田川が氾濫したら3メートル浸水するので、そっちの対策の方が最優先なんじゃないかなと思うわけです。もっと要望があるなら県に言ってください。そういう冷たい対応でした。それには幻滅しましたね。それから、本当に浸水したとき、桟敷の大きな交差点と水が氾濫しちゃうと思うんですね。坂の下にみずたまりのようになると思うんですけど、果たして川を越えて桟敷の公民館に避難できるのかなって、大門の方に避難した方がいいのかなとか、毎日考えています。

それから、災害は冬とは限りませんよね、真夏もそうです。さっき市長さんのお話もありました。どの程度季節とかを考慮して、ですから全部の場所に行き届かなくとも、どこか1力所これだけ備えておけば大丈夫と思ったなんていうんですかね、物資の備蓄をお願いしたいなというふうに思います。以上です。

市長

はい。貴重なご意見ありがとうございました。まず1点目の女性のお話がありましたけれど

も、これは私どもも設定する時間とかそういったこともあるうかと思いますけれども、積極的に女性が参加できるような環境をつくっていきたいと思っていますし、また、時間とか場所を変えて機会をつくれるような、そういう場面をきちんと設けていきたいと思っております。

今、地区の役をみても、区長さんは男性が多くて、民生児童委員は女性が多い。そういうのを見ても、そういうところにギャップがあるのかなとも思っておりますので、女性の活躍と女性の意見を拾えるようにそういうところはつくっていきたいと思っております。

信濃毎日新聞の話もいただきましたけれども、地域のイベントなども、コロナ禍の当時とは変わっておりますので、地域の中でしっかりと話し合いをしてもらえばと思っております。またヘルメットのお話がありましたけれども、やはり1軒に1個はかかるコストを計算しなきゃいけないとは思うんですけども、あのヘルメットっていろんなところに置いてあるところもありますので、そこにいけば被れるように、そういう公民館にあったりもするので、周知もしていきたいと思っております。またハザードマップの話もありましたけれども、ちょっとこちらの方で伺ったところ対応が悪かったようで申しわけなく思っておりますけれども、桟敷の田川を今確認したところ、ハザードマップ黄色で載ってくるんですけれども、浸水推定区域に入っています。それは心配だという話でありますので、さらに細かくご自宅がどちらでどんな心配でとかお聞きして、これは浸水はあってはならないことですので、そのための対策があればしっかりと検討していきたいと思っております。

あと、備蓄の関係でありますけれども、これは本当に蓄えをきちんと。まずどこに何があるかということを知っていただくことが大切だと思っておりますし、時代によって必要な備蓄品は変わってくるとは思いますので、そういった最新の状況を捉えながらしっかりと対応したいと思っております。ありがとうございました。

市民

いいですか。すみません、とりあえず先ほど市長の方からお話をありましたけれども。市の最初の話で、公共施設の老朽化に伴って、その補修にお金がかかってくるというお話がありましたけれども、その中でレザンホールの改修の費用 40 億円という話がありましたけれども、私も昨年の新聞報道で、フルに改修を行うと 66 億円かかるという報道にびっくりして、吊り天井の危険性を考えて、そういうような費用がかかるというお話、報道だったんですけども、このここで約 40 億円におさまり、概算事業費が 40 億円程度におさまるというお話があった

んですけども、調べてみると、レザンホールよりも、古くというか以前つくられたほかのホール、吊り天井、同じようなホール。市外のあるホールはレザンホールの倍の大ホールですと、2000席規模でそこで行われた改修費用フルで37億円です。塩尻は40億円とおっしゃいましたよね。37億円です。

また別のあるホール、そこは吊り天井だけの補修で9億円ですので。また別の施設、そこも吊り天井、そこで約1億円です。そういうふうに言って、また別の市外のホール、これは1400席、大体レザンホールの1.4倍。それも、レザンホールよりも前につくられたホールであるにもかかわらず、大規模改修が約10年前に行われて3億円、その後、小規模改修が10年にわたって2億円、合計5億円。それを考えますと、いかにそのレザンホールにかける概算予算が大きいか、県内では最大ではないかというような金額になっています。

今後、中央公民館も含めて、地方自治体の公共施設等の改修も含めて予算がどうしても必要になってくる中で、なぜこの40億円という予算で市議会もOKしたのかどうなのかも含めて、その辺をちょっとお伺いしたいと思います。

市長

はい。貴重なご意見ありがとうございます。レザンホールの40億の内訳になりますけれども、吊り天井部分だけですと8億円弱になっておりまして、それに合わせてLEDの改修と、30年間、ほとんど舞台装置だったり、いろいろなところに手が入っていない影響があります。吊り天井を直してまいりますと、足場を組みますので、そういう足場を組んでやる工事、例えば先ほど申し上げた照明の改修であったり、せっかく足場を組むのであればやれることをやってしまいたい、そういうような工事内容になっております。トイレの洋式化とともに含め、今の時代に合った改修をかけて精査をしたような状況でありますので、御理解をいただければと思っております。

市民

先ほど申し上げましたように、レザンホールの2倍のキャパを持っているホールが、同じような吊り天井でホールが倍あるにもかかわらず37億円で済ませている。そういう中で40億円というのはかけ過ぎではないかというような疑問を持ちました。ほかのところ、先ほどお話ししましたように、市外のホールなんかは5億円が済んでいるわけです。別にそこは吊り天

井はありませんけれども、ホールの直し、先ほどお話ししましたように 9 億円で済んでいる。

それは吊り天井だけですけれども。そういう意味で、先ほどの今 8 億円という話がありましたがけれども、32 億円です。32 億円をじゃあそのレザンホールの中で、今お話があつた足場、トイレ、そういうしたものも LED 化も含めて 32 億円もかかるとは到底思えないんですけども、その辺はちゃんと市の方で精査して発注して、予算を組んでいるわけでしょうか。

市長

はい。市の職員も知識が足りませんので、設計のコンサルを入れまして予算の方は積算をしております。今、工事の建築資材、人件費の高騰もありますし、そういうところの影響も受けているということがありますけれども。公共工事になりますし、皆様の税金を使って行う工事でありますので、これはしっかりと投資をしながら、最大の効果が上がるような工事の設計をするところであります。

市民

すみませんね。何でこんなにそれに関してうるさくなるかというと、やはり東地区に住んでいて、道路整備ですか介護施設ですか、今後その高齢化が進むに当たって、どうしても整備が進んでいないところが非常に目立ちます。特に私なんか 20 号線を挟んで北側に住んでおりますけれども、今かなり宅地もふえてきて、結局、先ほどは住んでいる方が少なくなっているというお話でしたけれども、非常に開発が進んで、ここ 2 年で 10 駐ぐらい家が建っています。そういう状況の中で道路整備が進んでいないものですから、特に塩尻峠、みどり湖の方からおりてくると右側に入る道がないんですね。道を折れて駐車場に入ることが約 500 メートルの間隔の間にない。それは、道が細くて 1 車線しかなくて、交互に通行できないようなところもあれば、指定方向外進入禁止で入れないようなところもある。

そんなような状況で、なかなか住みにくい。そういう中で、道路整備、基本的に大体その国全体のそういう概算からいうと、田畠の買収も含めて大体 100 メートル 1500 万円ぐらいができるというのが一般的な見識です。ただ、本当は 500 メートルぐらい道をつくってさえくれば、非常に住みやすくなるような地域にもかかわらず、全くこの数十年、新しい道路もできていなければ、ただ家がふえているだけで道路整備ができないものですから、我々は小学生が通るような通学路、危険な通学路を通つて大回りしながら自宅の駐車場に入らなければいけな

いような状況がずっと続いているんですね。それだけの公共施設の予算があるんだったら、この東地区の方にも予算を回してくれる。ここ数年、そんなにこちらの地域に予算が配分されているような印象がないものですから、そういったところの公共施設に、巨額の予算をつぎ込むよりは、そういった住みやすい地方への予算配分を少し考えてもらいたい、そういうふうに考えております。

市長

ありがとうございます。ちょっとそこの 500 メートル、こことここの 500 メートル教えてもらうと具体的にわかつてきますので後ほどお聞かせください。また東地区の道路整備に、最近大きな投資をしたのは JR の側道の道の拡幅を行っております。

ちょうど最近岡谷ジャンクションの工事がありまして、どうしても 153 号線が混むこともありますし、そちらを迂回して使う車両も増えておりますけれども、しっかりと東地区の道路の整備に進めておりますし、通学路のお話がありましたが、通学路の安全の確保というのは市としては最大の事項だと思っておりますので、そこはあの PTA、学校、そして警察、そういったところみんなで区長さんとかも混ざってみております。

道路整備をきちんとしながら計画的に進めているところでありますので、ご理解いただければと思います。ありがとうございました。

市民

今のレザンホールのことですけれども、レザンホールは1回入札してから2回目の入札ですね、そこら辺のことも説明なさったら。私も松本の芸術館も今改修工事に入っているので、レザンホールも松本芸術館を使用できないことの影響で、レザンホールを借りなきゃいけないことがあったので、そうしたら、レザンホールさんも改修工事を始めるという形で借りれなくなつたという経緯があって。

ところがその借りれなくなったと思ったら、少しの間また借りれるようになったと、なぜかと言ったら、レザンホールさんの改修工事がちょっと延びたという形で、そういう形の関係もあった、たぶんレザンホールさんが。そこで、本当は改修工事をしたかったんだけれども、何か延びたという、延びたことによって、予算が変わったのかな、ということがあるのかなと思ったので、この話を出しました。

市長

はい。ありがとうございます。レザンホールのお話がありました。1回目の入札をかけましたけれども、不調と言いまして業者の手が挙がらない状況でございました。そして、2回目今週末24日が期限になっておりますけれども、入札をかけてるところでございます。入札に関しては金額は変わっておりません。変わっておりませんが、工事の方法が変わってきますので、おそらく1回目の入札で示した仕様よりは休館期間が長くなってしまう可能性があることは御承知ください。レザンホールの工事ですけれどもここで投資をしておけば、あと30年。鉄筋コンクリート建物って60年ぐらいなんです。耐用年数で見ておりますけれども、30年きっちり使える、そういうことを見越した思いでございます。レザンホールは昨日も童謡唱歌の会がありました。市民の皆さんがあれだけのステージで発表できる、自らステージに立つことができるそういうホールであります。やはり芸術文化というのは、私は市民の生活にとって欠くことのできない大切なものだと思っております。ちょっとここで多くのお金を使わせてもらいますけれども、今後の市民の皆さんの生活の豊かさとか、我々は考えました。

非常に貴重な工事だと思っておりますので、ここはしっかりと丁寧な説明をしながら理解を求めていきたいと思っております。あのイベントがありますので、市民の皆さんを笑顔にしていきたいと思っております。ありがとうございます。

市民

座っていいですか。ちょっと時間もあれで申しわけないです。私民生委員やっておりますし、孫がちょうど小学生なんですけれども、民生委員の中で東地区あの市内の児童館に視察をしたりしました。それで、私の孫が東児童館、小学校の児童館に行っていますけれども。あの、全校生徒の東小学校だいたい、300人ぐらいだと思うんですよね。一学年60人弱とか60人ちょっとなんですけど、児童館に利用している方が180人くらい児童いる。約半数は児童館行ってるんですけども。あの半数で、東児童館は校舎の3個の教室を分けて使っているんですね。全校の半分の生徒がその3つのフロアの中に、ものすごい数いる。4月になると、1年生が入ってくるので大勢の子供さんが児童館に入るんです。それで時期によってものすごい数で他の児童館も見させていただきましたけれども、東児童館の密集度はものすごいですね。

それであの洗馬地区の児童館が、そこだけ洗馬は違うんだと市からの返答でしたけど、社協

と共有して使っているということでとてもきれい。子供たちにとってもとても過ごしやすい、パステルカラーのものがとても過ごしやすい環境の児童館です。東児童館とか学校に併設している児童館はやっぱり教室の中で天井も低いしボール遊びをすることもできないし。塩尻市の中でやっぱり子供のあの何でしょう。出生率をあげたいとか子供さんが過ごしやすいことを考えますと、これからお母さんたち、いろいろ話が前後しちゃってしゃべりが下手なもんで申し訳ないんですけど、保育園は4時までとか6時まで延長したり、小学校に入るといきなり1年生は1時半とか2時くらいに下校になってしまう。

それであの児童館に預けるお母さん方が多い。それとか最初のうちはみんな実際に働く時間を短縮して正社員にならず、税金を納めず子供さんを見ることも多いのかなと思って、お母さん方も働いてる時間も減ったり働きにくい環境に一時なってしまうんでしょうね。そのようなこともお子さんが増えていかない理由の一つじゃないかな。働く時間が一時減ってしまうんですね。働く期間も。そういうことを改善していくためにも、塩尻市の児童館の子供たち、もう少しこうのびのびお子さんも預けながら十分働いていきますよ、というような環境をもつと子供たちのために整えていただきたいなど。どこの児童館も見ましたけれども、やっぱり子供の数がものすごく多いんです。それに比べてみてくださる方々の人数も少ない。

民生委員からのお話をしましたけれども、学校教育課からのお返事でして、人数は子供たちに対しての職員の人数は国の指定に足りていると。面積も子どもの数に比べて足りているということなんだけれども、よりよく子供たちが幸せに塩尻市で過ごしていくために、なんて言うんでしょうもう少しのびのび過ごしていくために、もう少し基準とかを一旦言わずに、もう少し過ごしやすい放課後を過ごしていくような児童館になつたらいいなあと思いました。

洗馬は違うと言いますけど、同じ税金払っている子供たちじゃないですか。何かそこは改善して洗馬は社協、他の児童館は学校教育課なんですね。その違いも昔ながらということなんですけれども、昔ながらと言ってないで改善してもらいたいなど。子供たちはお母様方がね、安心して預けられるといいますか、お母様方の働く時間も増やせるようにといいますか、そのように改善していっていただけたらなと思います。

市長

ありがとうございます。児童館は本当に預けられる方が多くて、施設がひっ迫する状況は承知しております。市にとっても大きな課題であります。子供の数が多いのも一つですけれど

も、就労態も変わってですね、預ける方も非常に増えています。さまざまな形で解決をしておりますので、安心して預けていただけるような児童館をつくっていきたいと思っております。

東児童館も非常に多い状況でありましたし、桔梗小のところは保育園を使ったりしましたし、宗賀小のところも昨年も改装したりして、ちょっと順番がありますけれども、安心して児童館に預けて仕事に集中できたりとか、子供を安心して預けられる、そういう環境をつくっていきますので、貴重なご意見ありがとうございます。ありがとうございました。

市民

あの、資料をもらって予算編成の基本的な流れが出ていますけれども。こういうことをしますと示していただくのは非常にありがたくて、では全部できるのかと、ある種我々は優先順位を知りたいんです。ここだけはやりますよとか、予算の関係厳しい財政になってますので、すべてのできるとは限らないと思うので、市としてはここまでやるとか、そういうことを示していただいても、我々も全部やる、これは全部できるのかなという目で見ていいのか、それとも、とりあえず今の情勢でここまでできるというふうにとらなかったの、難しいというか、財政的に難しくなってきてると思うので、そこら辺もやれるものを全部示すのか、やりたいものを示したら、そういう優先順位がどこかで示されてたら、我々見る方としてここまでやってくれると、もっと期待感を持てるのかなと思うんですけども、そういうような示し方ができないのかなということです。

市長

ありがとうございます。長期的な視点でやるべきことを書いてありますし、単年度でやるべきことが明記されます。なかなか全ての要求にお応えすることはできませんけれども。優先度はきちんと持って、例えば道路整備などは区からも優先度をつけていただいて整備を進めたりしています。そういう目線で見れるように情報提供していかないといけないと思っています。ありがとうございます。

既定の時間延長しまして大変失礼いたしました。今日貴重な意見をいただいておりますので、しっかりとそれに応えるべくして進めてまいりますし、また、私自身も東地区の文化祭に顔を出させていただいたり、夏は子供たちがここで夏期講習をやっておりますけど、そういうところに顔を出しています。極力地域に足を運びながら、しっかりとですね、市のために頑張って

まいりたいと思います。今日は貴重な時間になりました。皆さんありがとうございました。市民の皆さんのために全力を尽くしてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。ありがとうございました。